

月刊 みんなねっと

11
2024



カボチャのチャチャチャ

特集 働く当事者の声から考える
就労とその課題



家族向け交流サイトみんなねっとサロン

～親、子ども、きょうだい、配偶者・パートナー等 ご家族の方限定～
さまざまな精神障害をもつ人たちの家族を対象に、家族同士が安心して気軽に繋がることができる、相談・情報交換を行うコミュニティサイトが「みんなねっとサロン」です。
With コロナ時代の新しい家族ピアサポート活動が始まっています。
匿名で全国どこからでも利用できます。スマートフォンで簡単にアクセスできます！

■ご利用方法（無料）

<https://minnanet-salon.net/service>
（みんなねっとサロンで検索）または
QRコードよりアクセスし、登録してください。



■お問い合わせ

minnanet.salon@seishinhoken.jp（メール）

◆メルマガ会員募集中◆

みんなねっとでは、メールマガジンを発行しています（無料）。当会の活動だけでなく、各都道府県連等関係団体の情報なども随時お知らせします。

賛助会員の方だけでなく、一般の方も「最新情報がほしい!!」という方も、ご登録できます。ご登録方法は、みんなねっとのホームページからご覧ください。
Twitter（ツイッター）やLINE（ライン）での情報提供も行っています。



公式ツイッターはじめました
@minnanet で検索☆



LINE公式アカウント
@minnanet



オンラインタイプの会員「WEB賛助会員」 （年度会費3,600円）募集のお知らせ

～従来の郵送版ではなく WEB 上から「月刊みんなねっと」を閲覧でき、
スマホやPC、タブレット等からいつでもアクセス OK です～

★申し込み方法★

1. 新規でお申し込み

みんなねっとのホームページにアクセス→右上の人のマークから個人IDを取得→賛助会員の申込み（オンラインタイプ）→会費納入確認後に閲覧開始となります。

2. すでに個別賛助会員の方でオンラインタイプへの切り替えをご希望の方

みんなねっとのホームページにアクセス→右上の人のマークから個人IDを取得→マイアカウントにログイン→マイアカウント内紫色の賛助会員ご入会済の方はこちらより詳細情報を入れて登録→マイアカウント内オンラインタイプへ変更をクリックから進む→完了→会費納入確認後に閲覧開始となります。

3. 家族会・複数賛助会員の方は事務局へご相談ください。

特集

働く当事者の声から 考える就労とその課題

精神障害者の就労と「生の実践」

立命館大学生存学研究所 客員研究員 駒澤真由美

精神障害当事者の

「就労」に対する思いを聞く

私は夫との死別後に希死念慮を伴ううつ病を発症し、それをきっかけに臨床心理と精神保健医療福祉について学び始めたのですが、実習先で精神科医の先生が患者さんの障害年金や障害者枠雇用の相談にのる様子を観

察していて、素朴な疑問が浮かんできました。当のご本人は「働くこと」や「精神障害者」のラベルを貼られて生きることをどのように捉えているのか。

この疑問は、幼少期に離別した自分の父親とも関係しています。私の父はアルコールとギャンブル依存のために精神科病院に入院させられ、そのまま晩年



駒澤真由美さん

までそこで過ごし、亡くなったことを後で知りました。離別後父に会うことが一度もなかったことを、「仕方なかった」と自分自身に言い聞かせる反面、心のどこかにひっかかっていたのでしょうか。父は何を思っていたのか。なぜそのような生き方になったのか。本人にしかわからない胸の内を聞いてみたいと、実はずっと思っていたようです。それが「ライフストーリーを聞く」というその後の研究の



妊娠と精神科のくすりについて

昭和大学附属烏山病院 薬剤師 林裕佳子

私も昨年に妊娠と出産を経験しました。妊娠すると環境の変化や身体的な変化によるものなんでしょうか、不安な気持ちが大きくなったり、イライラすることが増えたりとさまざまな感情を経験しました。いざ出産のときも大変でしたが、生まれてきた子どもは可愛く、尊さを感じました。

私たち薬剤師や医療者は心配事の増える妊婦さんに寄り添

い、少しでも不安を軽減できればいいなと思って仕事をしています。薬局でくすりを渡すときに「私は妊婦ですが、このくすりは飲んでいて大丈夫でしょうか？」と質問されたことがあります。また、別の妊婦さんには「このくすりは必要だったのに、なぜ減らされたのでしょうか？」と質問されたこともありま

か、説明したいと思います。
精神疾患をもつ妊婦さんだけに注意が必要ですか？
一般的にくすりの添付文書（医薬品を正しく使用するため、の情報を記載した説明書）には、妊婦や授乳婦にくすりを投与してよいかどうか書いてあります。添付文書で禁忌となっていないくすりは基本的には妊婦さんに使うことはできません。しか



林裕佳子さん

統合失調症を理解し、より良く生きる

<p>オンライン開催について</p> 	<ul style="list-style-type: none">• パソコン、スマートフォン、タブレットからご参加いただけます。• お申込みいただいた方には、11月23日(土)にURLとパスワードをお送りいたします。• お送りしたURLをクリックし、パスワードを入力してログインしてください。• 開始30分前から接続可能です。
<p>Q&Aセッション(質疑応答)について</p>	<ul style="list-style-type: none">• 後半のQ&Aセッション(質疑応答)は、みなさんからいただいた質問をもとに、進めて参ります。• Q&Aセッション(質疑応答)でのご質問は、お申込みの際に事前に受け付けております。当日は質問をお受けいたしません。• 治療内容などの個人的な質問はお控えください。また、時間の都合上すべての質問にはお答えできない場合がございますので、あらかじめご了承ください。
<p>録画配信</p>	<ul style="list-style-type: none">• 2024年12月13日(金)12:00~12月27日(金)12:00まで• 下記URLからご視聴ください (事前のお申し込みは不要です) <p>https://www.smilenavigator.jp/information/forum/</p> 
<p>個人情報の取り扱いについて</p>	<p>※お預かりした個人情報は、市民公開講座のWeb開催のお知らせのために活用させていただき、業務委託先を除く第三者に提供することはありません。個人情報は「精神障がい者と家族のための市民公開講座」事務局が安全かつ適切に管理致します。</p>

管理者:「精神障がい者と家族のための市民公開講座」事務局

お問合せ先:E-mail workstyle-seminar@newsbase.co.jp

オンライン開催

(ZOOMウェビナー)

第10回精神障がい者と家族のための市民公開講座

統合失調症を理解し、より良く生きる

統合失調症は約100人に1人がかかると言われており、決して特殊な病気ではありません。又、近年では、当事者にとって身体的・精神的・社会的に満たされた状態(ウェルビーイング)であることが精神疾患においても重要であると言われています。

本市民公開講座では、「統合失調症を理解し、より良く生きる」をテーマに、経験豊富な専門の先生および支援者によるご講演、また当事者とご家族の立場からご自身の体験についてもお話しいたします。Q&Aセッションでは、皆さまから事前にいただいた統合失調症に関する質問について演者の先生方からご回答いたします。

参加費 **無料**
定員:500名

事前のお申し込みが必要です。
※事前に資料の配付はございませんが、後日録画放送を予定しております。

日時 2024 **11/24(日)** 13:00~15:30

プログラム (予定)

- 13:00 - 開催の挨拶 **岩田 仲生 氏** [学校法人藤田学園藤田医科大学精神神経科学講座 教授]
- 13:05 - 講演1 **統合失調症の養生の仕方ー心はどこまで脳ののだろうかー**
系川 昌成 氏 [東京都医学総合研究所 副所長]
- 13:35 - 講演2 **誰もがお互いを尊重し合い、笑顔で安心して暮らせる地域社会の実現に向けて(仮)**
山本 賢 氏 [全国精神保健福祉相談員会 副会長/ 飯能市福祉部障害福祉課 主幹]
- 14:05 - 講演3 **当事者、ご家族の体験談**
瀬戸 崇史 氏 [相談支援事業所こころの笑顔ピアスタッフ]
弓野 孝子 氏 [一般社団法人茨城県精神保健福祉会連合会 副会長/
ハートねっと日立市民の会 会長]
- 14:25 - 休憩
- 14:40 - Q&Aセッション(質疑応答) **司会:岩田 仲生 氏**
回答者:系川 昌成 氏、山本 賢 氏、瀬戸 崇史 氏、弓野 孝子 氏
- 15:25 - 閉会の挨拶

【お申し込み方法】

下記URLよりお申し込みください。右の二次元バーコードからもお申し込みいただけます。

<https://entry.smtkg.jp/public/application/add/4777>

※2024年11月23日(土)に視聴用URLとパスワードをお送りいたします。

申込締切日

2024年
11月22日(金)
13時



COM-HBO
Community Mental Health and Welfare Building Organization



公益社団法人
全国精神保健福祉会連合会
(みんなねっと)



NPO法人 全国精神保健職協会



Japan Depression Center (JDCI)
一般社団法人日本うつ病センター

